

観光社会資本の事例

テーマ	海洋体験学習施設「加茂レインボービーチ」
<p>【施設の状況写真】</p>  <p>地方港湾加茂港に隣接する、人工海浜・人工磯場を中心とした施設</p>	
<p>【施設の利用写真】</p>   <p>小学生を対象とした貝つかみイベント</p> <p>海水浴シーズン利用状況</p>	
<p>【観光資源としての利用状況】</p> <p>人工海浜・人工磯場の整備により、海水浴客で賑わうとともに、地域住民による貝つかみ等の各種イベントが行われたりもしています。</p> <p>施設は小規模ながら、小学生による海洋生物の観察やカニ捕り等の磯遊び、マリンスポーツ体験などが可能な多機能施設であるため、自然体験学習の場として活用されており、年間約2万人の方々に利用されています。</p>	

テーマ	海洋体験学習施設「加茂レインボービーチ」
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 加茂レインボービーチ</p> <p>所在地 山形県鶴岡市今泉字大久保</p> <p>事業名 海岸環境整備事業</p> <p>事業主体 山形県</p> <p>事業期間 平成8年～平成14年</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>加茂レインボービーチは、加茂港が持つ岩場が織りなす独特の景観を活かしつつ、安全で良好な海岸空間の形成を図るとともに、環境教育等に利用しやすい海岸づくりを推進すること、海辺の自然やスポーツを安全に楽しめる海岸を創出することを目的とし、「いきいき・海の子・浜づくり」事業に選定されて整備されました。平成8年度から人工海浜・人工磯場や遊歩道、休憩施設(トイレ・シャワー、パーゴラ)などの整備を進め、平成14年7月にオープンしました。</p> <p>加茂港の近隣には、県水産試験場や県立水産高校等の研究・教育機関や水族館等の観光レクリエーション施設が立地し、海洋に関連する施設が集積している地区となっており、加茂港は海洋学術機能の強化を図ることを目的に掲げています。</p> <p>地元住民や観光客の憩いの場になるとともに、小学生が海洋生物に触れたり、マリンスポーツ体験を行う場などとして、海洋教育に大いに利用されています。</p>	
<p>【位置図】</p> <div style="display: flex; align-items: center;">   </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>< 交通アクセス ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡市からは国道 112 号線で酒田市方面へ ・新潟からは国道 7 号線で鶴岡市方面へ <li style="padding-left: 20px;">鶴岡市由良地区から主要地方道藤島由良線へ ・鶴岡駅から加茂行きバス 27 分、「加茂登町」下車。 </div>	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>山形県 http://www.pref.yamagata.jp/db/kokiban/1324800/newpage4.htm</p>	